



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 陸自CH-47Jに体験搭乗

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は6月26日、北宇都宮駐屯地においてヘリコプター体験搭乗を実施した。当日は小・中・高校生やその家族、学校関係者など約80名が参加した。

体験搭乗前には航空自衛隊第7航空団の戦闘機パイロットや、陸上自衛隊航空学校宇都宮校のヘリコプターパイロットが、自衛隊パイロットになるための道のりやこれまでの経験を説明した。説明後は個別の質問にも応じ、参加者からは「自衛官と直接話す機会を得て大変勉強になった」との感想が聞かれた。

体験搭乗では参加者を6個のグループに分け、それぞれ約10分間ずつ宇都宮市上空を飛行した。その際、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、乗り換えのつど機内の座席やシートベルト、窓ガラス等のアルコール消毒を徹底した。参加者からは「空飛ぶ乗り物に乗ること自体、人生で初めてでワクワクした」「陸上自衛隊のCH-47に乗れるとは思わなかったので、体験できて良かった」等の声が聞かれた。

栃木地本は「今後も体験搭乗や部隊見学を通じ、自衛隊を身近に感じてもらえるよう努めていく」としている。



## 一般公募による公安系合同採用説明会の開催～栃木地本で初の試み～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶1陸佐）は7月3日及び4日、栃木県警察本部及び宇都宮市消防局と協力し、警察・消防・自衛隊合同採用説明会を実施した。

これは7月1日の高校3年生の就職活動解禁に合わせて開催したものであり、秋以降に実施する各種採用試験への志願者増加を図ることを目的としている。一般公募による合同採用説明会は栃木地本

では初の試みであったが、栃木地本SNSでの告知や、地元紙等で紹介されたこともあり、2日間で当初の予想を上回る89名の参加を得た。

当日は警察・消防・自衛隊の順に、それぞれの担当者が試験制度や職務の魅力について説明した。参加者からは「社会に奉仕出来る素晴らしい仕事内容で、是非受験したい」「ワ

ーク・ライフバランス等女性が定年まで働きやすい環境づくりに尽力していることを知ることができ、大変良かった」といった感想が聞かれた。

栃木地本は「今後は更に大學生の採用についても警察・消防等と連携してPRを行い、募集目標達成に向けて邁進していく」としている。

